

環境管理計画(H26年度取組状況一覧)

環境と人・地域社会

(1) 人と環境とのきずなづくり

頁	主な取組	目標	実績
30	①身近な自然環境の広報	・推進	イベントやHPを活用したPR、 六国峠ハイキングコースガイドマップ配布
30	②多岐にわたる分野とのコラボレーションの推進【生物多様性に再掲】	・推進	民間団体主催イベントへの出展、スポーツチームとの協力による啓発
30	③「横浜つながりの森」におけるエコツーリズム【環境と経済、生物多様性に再掲】	・推進	主要施設におけるPR、 ハイキングのルール・マナー検討

(2) 企業の環境行動

30	①企業の環境行動の広報【生物多様性に再掲】	・推進	ヨコハマ環境行動フェスタステージイベントへの 企業参加、連携した広報
30	②企業とのコミュニケーション	・推進	取組推進のためのパンフレットWeb掲載、横浜市環境保全協議会、横浜商工会議所と連携したイベント開催

(3) 環境活動のネットワークづくり

31	①環境行動の実践に向けた広報・啓発【生物多様性に再掲】	・毎年実施	知ろう！伝えよう！生きもののつながりキャンペーン開催
31	②連携・交流のプラットフォームづくり【生物多様性に再掲】	・推進	業務研究発表によるPR
31	③活動団体への支援【生物多様性に再掲】	・推進	5団体 34万円の助成、 10団体・企業の環境活動賞表彰
31	④愛護会などの支援【生活環境に再掲】	・公園愛護会の活動支援団体数 2,457団体<<4か年>>	2,432団体を支援
		・ハマロードサポーターの活動支援 団体数 495団体<<4か年>>	404団体を支援
		・水辺愛護会の活動距離 60,198m<<4か年>>	活動距離 59,068m
31	⑤地域での環境行動の推進	・推進	各区において推進

(4) 「学び」の輪づくり

32	①ヨコハマ・エコ・スクール(YES)の展開【地球温暖化対策に再掲】	・YESの講座開催(認定) 250回/年	377講座/年 開催
32	②生物多様性でYES!【生物多様性に再掲】	・参加者数 10,500人/年	35,400人 参加
32	③「エコ活。」の推進【地球温暖化対策に再掲】	・参加児童数 32,000人/年	児童40,481人、238校参加
		・エネルギーやCO <sub>2</sub> の 見える化の推進	エネルギー利用に関する啓発リーフレット作成
32	④自然体験活動の推進	・推進	1,703人参加
32	⑤環境教育に先進的に取り組む学校への支援	・推進	56校(累計) 支援
32	⑥動物園等における環境教育【生物多様性に再掲】	・環境教育事業数 330件	614件 実施

(5) 横浜市役所環境行動宣言による取組の推進

33	①横浜市環境マネジメントシステムの推進【地球温暖化対策に再掲】	・推進	環境行動目標策定、総合環境研修・内部監査実施
----	---------------------------------	-----	------------------------

環境管理計画(H26年度取組状況一覧)

環境と経済

(1) 環境分野における需要の創出を通じたビジネスチャンスの拡大

頁	主な取組	目標	実績
37	①横浜スマートシティプロジェクトの展開【再掲】	・フォーラムの開催 ・海外プロモーション	YSCPフォーラム開催(8月)
37	②住宅用スマートエネルギー設備の普及促進【地球温暖化対策に再掲】	・HEMSなどの導入件数 6,000件《4か年》	住宅用スマートエネルギー設備、太陽熱利用システム計 141件導入
37	③住まいのエコリノベーションの推進【地球温暖化対策に再掲】	・住まいの横浜型省エネ改修モデルの構築・推進	32件 実施
37	④燃料電池自動車(FCV)の普及促進【環境とまちづくり、地球温暖化対策に再掲】	・FCVの普及台数 200台《4か年》 ・公用車・市営バスへの率先導入 ・水素ステーション整備に係る 動向調査	燃料電池自動車FCV1台導入(県内初) 水素ステーション2か所(旭区・泉区)開所
37	⑤技術相談事業(省エネ相談)	・技術アドバイザー派遣	76件 派遣
37	⑥中小製造業設備投資等助成	・設備投資の促進	40件 助成
37	⑦中小企業融資事業(環境・エネルギー対策資金)	・融資制度の実施	3件、5,500万円
37	⑧京浜臨海部エリアの活性化	・推進	推進
38	⑨防犯灯や商店街街路灯などの省エネ対策の推進	・防犯灯のLED化 86%《2017年度末》	85% LED化
38	⑨防犯灯や商店街街路灯などの省エネ対策の推進	・商店街街路灯の高効率化 1,000基《4か年》	328基

(2) 環境分野における市内企業の技術革新(イノベーション)推進

38	①横浜グリーンバレーの推進【地球温暖化対策に再掲】	・エネルギーグリッドの構築	エネルギー融通等モデル事業計画策定調査実施
		・産業団地の見える化	エネルギーマネジメントシステムの開発事業者を公募
38	②成長発展分野育成支援事業	・助成件数 15件《4か年》	3件 助成
38	③中小企業支援コーディネート事業	・マッチング社数 600社《4か年》	150件 マッチング
38	④横浜環境ビジネスネットワーク事業	・スマートセルプロジェクトの推進 1プロジェクト《4か年》	1件 プロジェクト支援
38	⑤重点産業立地促進助成	・アプローチ件数 1,400件《4か年》 ・国内外での誘致イベント参加企業数 500社《4か年》 ・重点産業助成を活用した企業誘致件数 80件《4か年》	323件アプローチ、誘致イベント参加企業196社、企業誘致20件
38	⑥省エネ住宅の促進と市内企業の事業機会拡大	・推進	検討

(3) 地域資源を生かしたシティプロモーションの展開

39	①「横浜つながりの森」におけるエコツーリズム【環境と人・地域社会、生物多様性に再掲】	・推進	主要施設におけるPR、ハイキングのルール・マナー検討
39	②公民連携による国際技術協力(Y-PORT事業)【再掲】	・都市づくりのアドバイザー ・横浜のシティプロモーション ・市内企業の海外展開支援	海外都市インフラ推進支援、民間企業・国際的な機関との連携協定、海外都市との覚書にもとづく技術協力、アジアスマートシティ会議開催ほか
39	③動物園におけるシティプロモーションの展開	・推進	交通広告、大型イベントや高速道路サービスエリアの観光イベント等でのPR実施
39	④スマートイルミネーション横浜の開催	・来場者数 24万人/年	18万4千人来場
		・参加協力団体 42団体/年	29団体参加

環境管理計画(H26年度取組状況一覧)

環境と経済

頁	主な取組	目標	実績
<b>(4) 新興国等での環境対策の支援と環境ビジネスの海外での戦略的展開</b>			
40	②公民連携による国際技術協力(Y-PORT事業) 【再掲】	・都市づくりのアドバイザー ・横浜のシティプロモーション ・市内企業の海外展開支援	海外都市インフラ推進支援、民間企業・国際的な機関との連携協定、海外都市との覚書にもとづく技術協力、アジアスマートシティ会議開催ほか
40	②横浜スマートシティプロジェクトの展開【再掲】	・フォーラムの開催 ・海外プロモーション	取組の発信、YSCPフォーラムの開催
40	③公民連携による海外水ビジネスの国際展開	・市内企業 ・水ビジネス協議会会員企業との連 ・国際貢献活動の拠点(北都下水道センター)としての本格供用 ・視察・研修の受入等を通じた本市技術のPR	会員企業との合同調査(ベトナム・ハノイ市・フエ市)、横浜ウォーター(株)との合同調査(サウジアラビア等) 海外上下水道関係者と会員企業のビジネスマッチング実施(ベトナム・ハノイ市・フエ市、サウジアラビア等)、視察・研修受け入れ、水環境ソリューションハブ拠点整備
40	④国内外の都市との低炭素連携の推進 【地球温暖化対策に再掲】	・九都県市間の情報交換 ・地域間の連携 ・海外都市との連携	九都県市との情報交換、北海道下川町との連携 C40(世界大都市気候先導グループ会議出席、「国際カーボンニュートラル都市ネットワーク」に選出ほか)
40	⑤環境保全技術に関する国際貢献	・横浜上海技術交流の実施 ・海外研修生の受入	JICA横浜主催「青年研修事業」参画、上海市への職員派遣
<b>(5) 横浜の特色ある都市農業の推進と先進的生産技術の発信</b>			
41	①市民や企業等との連携(地産地消)【食と農に再掲】	・企業等との連携 50件《2017年度末》	5件の連携
41	②6次産業化など付加価値を高める取組の推進 【食と農に再掲】	・生産設備等支援 30件《4か年》	調査
41	③横浜型次世代植物工場技術の発信	・推進	企業の見学会への参加者数:5,896名(H25~H26延べ)、植物工場野菜の普及イベント参加者数:1,340名

環境とまちづくり

頁	主な取組	目標	実績
<b>(1) 都心部におけるエコまちづくりの推進</b>			
46	①エキサイトよこはま22における環境取組 【生物多様性に再掲】	・推進	省エネ、低CO2を実現する建築計画、自然換気・自然採光の取り入れ、再生可能エネルギー導入等推進
46	②みなとみらい2050プロジェクトの推進 【地球温暖化対策、生物多様性に再掲】	・推進	アクションプラン策定
46	②みなとみらい21中央地区の公共空間への緑化 推進(生物多様性に再掲)	・推進	みなとみらい3号線の緑化推進
46	③横浜スマートシティプロジェクトの推進 【地球温暖化対策に再掲】	・HEMSの導入促進	国内最大規模の実証実験
46	④都心臨海部の緑花による賑わいづくり 【水とみどりに再掲】	・推進	「魅力・賑わいづくり:6か所、良好な維持管理:3か所」
<b>(2) コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり</b>			
47	①鉄道駅周辺の拠点整備	・拠点整備 完了3地区、事業8地区《4か年》 ・緑化の推進	6地区事業中、緑化推進
47	②地域まちづくりの誘導・推進	・地域まちづくりの件数(新規) 40件《4か年》	市民発意のまちづくり活動等支援 11件
47	③人口減少を踏まえた住環境などの充実	・「持続可能な住宅モデルプロジェクト」 推進 ・土地誘導手法などの検討・推進	「持続可能な住宅モデルプロジェクト」4地区で推進 横浜型コンパクトなまちづくり実現のための検討
<b>(3) つながりの海(まちづくりと連携した海づくり)</b>			
48	①京浜臨海部の海づくり【生物多様性に再掲】	・推進	人工干潟設置等取組推進
48	②都心臨海部の海づくり【生物多様性に再掲】	・推進	山下公園前海域において民間企業との共同研究、アマモ植え付け
48	③金沢区野島海岸周辺の海づくり【生物多様性に再掲】	・推進	市民活動団体と協働の体験プログラムの実施、野島青少年研修センターでの自然体験プログラムの提供、市民団体と連携したイベントを開催、海域の生物による水質浄化のPR等の環境活動の啓発を実施
48	④金沢区白帆地区の海づくり【生物多様性に再掲】	・推進	アマモの播種等自然学習イベント実施
48	⑤横浜ブルーカーボン事業の推進【生物多様性に再掲】	・推進	カーボンオフセット社会実験実施、PRイベント開催

環境管理計画(H26年度取組状況一覧)

環境とまちづくり

頁	主な取組	目標	実績
<b>(4)人やモノが移動しやすく環境にやさしい交通・物流体系の形成</b>			
49	①交通ネットワークの整備による環境負荷低減	・神奈川東部方面性の整備推進	工事実施
		・運輸政策審議会答申路線の事業化検討	基礎的な調査着手
		・関内駅北口および周辺整備事業の完了	駅舎改良工事本格着手
		・横浜環状道路等の整備	横浜環状道路の整備推進、幹線道路1.25km整備、地域道路475m整備
49	②モビリティマネジメントの推進 【地球温暖化対策に再掲】	・実施目標 12件《4か年》	出前講座、バスマップ更新、啓発マンガリーフレット作成・配布、啓発ポスター作成・掲出等による公共交通の利用促進 計6件実施
49	③地域交通サポートの推進【地球温暖化対策に再掲】	・地域交通サポートの取組支援 28地区《累計》	本格運行:3地区、新規取組地区:4地区、取組支援地区:24地区
49	④徒歩や自転車による快適で楽しい交通環境の整備【地球温暖化対策に再掲】	・バリアフリー化整備延長 8.0km《4か年》	3.4km完成
		・横浜都心部コミュニティサイクル事業推進	H26年4月からの本格実施、H27年3月から電動アシスト自転車全車導入
		・自転車レーンの整備 8.0km《4か年》	西区みなとみらい地区、旭区善部町、泉区和泉町、鶴見区鶴見中央1丁目 計3.93km整備
50	⑤燃料電池自動車(FCV)の普及促進 【環境と経済、地球温暖化対策に再掲】	・FCVの普及台数 【目標】200台《4か年》 ・公用車・市営バスへの率先導入 ・水素ステーション整備に係る動向調査	燃料電池自動車FCV1台導入(県内初) 水素ステーション2か所(旭区・泉区)開所
50	⑥超小型モビリティなど次世代交通の推進 【地球温暖化対策に再掲】	・推進	チョイモビ ヨコハマ実証実験
			EVワンウェイ型カーシェアリング「smaco」サポート実施
50	⑦横浜港の低炭素化【地球温暖化対策に再掲】	・荷役機械や船舶からのCO2排出削減推進	推進
		・グリーン経営認証の取得支援 40社《4か年》	10件
		・グリーン物流の推進	横浜～東北方面航路等のコンテナのフィーダーサービス推進
			はしけによる海上コンテナ輸送促進
		・トラック輸送の円滑化推進	ITを利用した物流の円滑化策検討とコンテナラウンドユース研究会などの実施
		・臨港道路網整備推進	国道357号本牧出口ランプ整備工事
			南本牧ふ頭連絡臨港道路工事
		・省エネ、節電の推進	国際交流ゾーンの省エネ・節電推進
		・港のスマート化推進	横浜港のエネルギーマネジメント導入検討
・民間事業者への啓発等推進	低炭素化取組PR		

環境管理計画(H26年度取組状況一覧)

環境とまちづくり

頁	主な取組	目標	実績
<b>(5) 環境に配慮した建築物の普及</b>			
51	①環境配慮型建築物の推進【地球温暖化対策に再掲】	・推進	セミナー講習会等の開催(3回) 長期優良住宅認定申請件数:2,204件 低炭素建築物認定申請件数:60件
51	②住まいのエコリノベーションの推進【環境と経済、地球温暖化対策に再掲】	・住まいの横浜型省エネ改修モデルの構築・推進	33件実施 「よこはまエコリノベーションアカデミー」開催
51	③公共建築物の省エネ化の推進【地球温暖化対策に再掲】	・省エネ改修の推進	ESCO事業公募:1事業 省エネルギー改修施設数:10施設 地中熱利用空調施設数:1施設
		・木材利用促進推進	ガイドライン策定・公表 セミナー等開催(5回)
51	④民有地における緑化の助成【水とみどりに再掲】	・緑化の助成 65件 ※2014~2018年度まで	個人宅、集合住宅、公開性のある地麵緑化への助成 計5件

**(6) 多様なニーズに対応できる快適な公園の整備**

52	①魅力ある公園の新設・再整備	・新設・再整備公園数 延べ320か所(4か年)	新設・再整備57か所
52	②土地利用転換に対応した大規模な公園の整備	・鶴見花月園公園の整備着手	都市計画手続、地元説明会等実施
		・舞岡町公園の整備着手	基本計画策定、地元説明会等実施
		・小柴貯油施設跡地公園の整備着手	基本計画策定、環境影響評価手続き着手
52	③都心臨海部の緑花による賑わいづくり【環境とまちづくり、水とみどりに再掲】	・推進	「魅力・賑わいづくり:6か所、良好な維持管理:3か所」

**(7) 安心して生活するための下水道・河川の浸水対策**

52	①下水道の整備	・時間当たり約50mmの降雨における雨水幹線等の整備率 66.4%<2017年度末>	整備率65.9%
52	①下水道の整備	・時間当たり約60mmの降雨における雨水幹線等の整備率 63.1%<2017年度末>	整備率60.8%
52	②浸水予測情報の周知	・内水ハザードマップの市域全域公表	内水ハザードマップの作成・公表(北部方面)
52	③河川の整備	・河川改修による想定氾濫区域面積の削減(約50mm/h) 540ha	推進

地球温暖化対策

**(1) 低炭素なまちづくりに向けたエネルギー管理の推進**

頁	主な取組	目標	実績
56	①横浜スマートシティプロジェクトの推進【環境とまちづくり再掲】	・HEMSの導入促進	国内最大規模の実証実験をCEMSとの連携にて実施
56	②みなとみらい2050プロジェクトの推進【環境とまちづくり、生物多様性に再掲】	・推進	アクションプラン策定
56	③横浜グリーンバレーの推進【環境と経済に再掲】	・エネルギーグリッドの構築	エネルギー融通等モデル事業計画策定調査実施
		・産業団地の見える化	エネルギーマネジメントシステムの開発事業者を公募
57	④横浜港の低炭素化【環境とまちづくり再掲】	・トラック輸送の円滑化推進	ITを利用した物流の円滑化策検討とコンテナラウンドユース研究会などの実施
		・港のスマート化推進	横浜港のエネルギーマネジメント導入検討
57	⑤水素エネルギーの活用検討	・検討	エネルギーアクションプラン策定

環境管理計画(H26年度取組状況一覧)

地球温暖化対策

頁	主な取組	目標	実績
<b>(2) 住宅・建築物の温暖化対策の促進</b>			
57	①住宅用スマートエネルギー設備の普及促進【再掲】	・HEMSなどの導入件数 6,000件《4か年》	住宅用スマートエネルギー設備、太陽熱利用システム 計 141件導入
51	①環境配慮型建築物の推進【再掲】	・推進	セミナー講習会等の開催(3回)
			長期優良住宅認定申請件数:2,204件 低炭素建築物認定申請件数:60件
51	②住まいのエコリノベーションの推進【再掲】	・住まいの横浜型省エネ改修モデル の構築・推進	33件実施、「よこはまエコリノベーションアカデミー」開催
51	③公共建築物の省エネ化の推進【再掲】	・省エネ改修の推進  ・木材利用促進推進	ESCO事業公募:1事業 省エネルギー改修施設数:10施設 地中熱利用空調施設数:1施設
			ガイドライン策定・公表 セミナー等開催(5回)
<b>(3) 公共施設における未利用エネルギー等のさらなる活用検討・導入</b>			
58	①下水道施設及びごみ焼却施設における再エネ・未利用エネの活用	・消化ガス発電の推進	使用実績:20,004,278Nm <sup>3</sup> /年
		・污泥燃料化の推進	H28年度施設稼働に向け、すべての機器の製作完了、一部機器の据付完了
		・神奈川水再生センターなどでの太陽光発電事業	発電実績:389,116kWh
		・余剰電力の売却によるCO2の排出削減	売却電力量:198,436,995kWh
58	②生ごみ等の減量化・資源化推進事業【再掲】	・生ごみ等のバイオガス化の実現可能性を検討	バイオガス化実現可能性検討、食品ロス削減等啓発のためのPR等実施
58	③使用済食用油のバイオディーゼル燃料の活用	・重油及び軽油の代替使用 640kL 《4か年》	精製量:152,746L
58	④水道施設における再生可能エネルギーの推進	小水力、太陽光発電の設置 504kW ※2014~2015年度まで	川井浄水場セラロッカ太陽光発電設備等 計432kW設置
58	⑤特別避難所への再生可能エネルギーの導入	・公設施設への導入 35施設 ※ 2014~2015年度まで	8か所完了
58	⑥横浜市風力発電所(ハマウイング)の活用	・発電量 880kWh《4か年》	2,173,718kWh
		・見学者数 6,500人《4か年》	576人

環境管理計画(H26年度取組状況一覧)

地球温暖化対策

頁	主な取組	目標	実績
<b>(4) 低炭素交通の普及促進</b>			
60	①燃料電池自動車(FCV)の普及促進 【環境と経済、環境とまちづくりに再掲】	・FCVの普及台数 200台《4か年》 ・公用車・市営バスへの率先導入 ・水素ステーション整備に係る動向調査	燃料電池自動車FCV1台導入(県内初) 水素ステーション2か所(旭区・泉区)開所
60	②超小型モビリティなど次世代交通の推進 【環境とまちづくりに再掲】	・推進	「チョイモビ ヨコハマ」実証実験推進、EVIによるワンウェイ型カーシェアリングサービス「smaco」サポート実施
60	③自転車や公共交通への利用転換の促進	・コミュニティサイクル実施 ・モビリティマネジメントの実施 12件《4か年》 ・地域交通サポートの取組支援 28地区《累計》	H26年4月からの本格実施、H27年3月から電動アシスト自転車全車導入 出前講座、バスマップ更新、啓発マンガリーフレット作成・配布、啓発ポスター作成・掲出等による公共交通の利用促進 計6件実施 本格運行:3地区、新規取組地区:4地区、取組支援地区:24地区
60	④横浜港の低炭素化【環境とまちづくりに再掲】	・荷役機械や船舶からのCO2排出削減推進 ・「ゆつくり走ろう!横浜港」の推進 ・「グリーン物流」の推進 ・トラック輸送の円滑化推進 ・臨港道路網の整備推進	推進 グリーン経営認証取得のための助成10件 横浜～東北方面航路のコンテナのフィーダーサービス推進、はしけによる会場コンテナ輸送の促進 ITを利用した物流の円滑化策検討とコンテナラウンドユース研究会などの実施 国道357号本牧出口ランプの橋脚工事及び橋梁上部工事、南本牧ふ頭連絡臨港道路の基礎、橋脚及び上部工事を実施
<b>(5) 温室効果ガス削減に有効な制度や仕組みの構築</b>			
62	①地球温暖化対策計画書制度の着実な運用	・制度の着実な運用	「横浜市地球温暖化対策計画書制度」に基づいた取組の評価・公表
62	②公共施設のエネルギーマネジメント	・「横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)」の目標達成	エネルギーカルテシステムの活用による全庁的な啓発実施、「横浜市地球温暖化対策実行計画」進捗管理、管理標準の整備
62	③横浜市環境マネジメントシステムの推進 【環境と人・地域社会に再掲】	・推進	環境行動目標策定、総合環境研修・内部監査実施
62	①環境配慮型建築物の推進 【環境とまちづくりに再掲】	・推進	セミナー講習会等の開催(3回) 長期優良住宅認定申請件数:2,204件 低炭素建築物認定申請件数:60件
62	⑤再生可能エネルギー導入検討報告制度の運用	・制度の着実な運用 ・制度の拡充を検討	導入検討報告:112件 拡充案検討
62	⑥環境分野における市内中小企業の成長支援 【環境と経済に再掲】	・推進	推進
62	⑦国内外の都市との低炭素連携の推進 【環境と経済に再掲】	・九都県市間の情報交換 ・地域間の連携 ・海外都市との連携	九都県市との情報交換 北海道との連携 C40会議出席
<b>(6) 市民のライフスタイル変革に向けた「エコ活。」普及</b>			
63	①ヨコハマ・エコ・スクール(YES)の展開 【環境と人・地域社会に再掲】	・YESの講座開催(認定) 250回/年	377回開催
63	②「エコ活。」の推進【環境と人・地域社会に再掲】	・参加児童数 32,000人/年	児童40,481人、238校参加
63		・エネルギーやCO2の見える化の推進	エネルギー利用に関する啓発リーフレット作成

## 環境管理計画(H26年度取組状況一覧)

### 生物多様性

#### (1) 普及啓発

頁	主な取組	目標	実績
69	①環境行動の実践に向けた広報・啓発 【環境と人・地域社会に再掲】	・推進	知ろう！伝えよう！生きもののつながりキャンペーン開催
69	②生物多様性でYES！【環境と人・地域社会に再掲】	・参加者数 10,500人/年	40のプログラムに,180人参加
69	③環境教育に携わる指導者への支援	・推進	講師向けスキルアップ研修実施
69	④動物園等における環境教育 【環境と人・地域社会に再掲】	・環境教育事業数 330件	繁殖センターの施設見学ほか 計614件実施
69	⑤生物多様性に配慮した消費行動	・推進	イベントを活用した啓発実施
69	⑥「横浜つながりの森」におけるエコツーリズム 【環境と人・地域社会、環境と経済に再掲】	・推進	主要施設におけるPR、ハイキングのルール・マナー検討
69	⑦体験フィールドの活性化 ～横浜の森プロモーション～	・推進	イベント紹介チラシの作成・配布、区と連携したPR、公共交通機関・地域情報誌等を活用した広報展開
69	⑧市民の守りたい、伝えたい谷戸環境の広報	・推進	Webページ開設、イベント等での谷戸環境のPR
69	⑨庁内横断による谷戸環境の積極的活用	・推進	Webページ開設、イベント等での谷戸環境のPR
69	⑩活動団体への支援【環境と人・地域社会に再掲】	・推進	5団体 34万円の助成、10団体・企業の環境活動賞表彰
70	⑪多岐にわたる分野とのコラボレーションの推進 【環境と人・地域社会に再掲】	・推進	スポーツチームとの協力による啓発
70	⑫連携・交流のプラットフォームづくり 【環境と人・地域社会に再掲】	・推進	業務研究発表によるPR
70	⑬森を支えている活動団体のつながりの強化	・研修など交流の場の提供	ハイキングのルール・マナー検討
70	⑭「横浜つながりの森」の調整機能の充実・体制の強化を推進	・推進	森全域の共通イベントチラシ作成・配布
70	⑮外来種に関する普及啓発	・推進	図書館等公共施設でのパネル展示やリーフレットによる啓発

#### (2) 保全・再生・創造

70	①瀬上池の生物多様性を守る～瀬上池の未来づくり～	・推進	測量・設計及び土砂流入量の調査、今後の方向性検討
70	②生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上 【水とみどりに再掲】	・法面の整備 8か所《4か年》	1か所整備施行中
70	③横浜に生息する生き物体験施設の整備	・推進	「日本の森」ゾーンの基本設計実施
70	④アライグマ・タイワンリスによる被害への対策	・推進	アライグマ 415頭、タイワンリス 191頭捕獲
70	⑤旧小柴貯油施設跡地の公園活用	・工事・着手	基本計画策定、環境影響評価手続着手
70	⑥多様な生き物を育む場づくり(アユが遡上する川づくり)【水とみどりに再掲】	・帷子川モデルプランの策定	基本方針(案)策定
71	⑦指定・登録文化財の保護育成	・推進	生息環境調査、環境整備実施
71	⑧国際的な希少動物の保全の取組と国際貢献	・推進	カンムリシロムク保護事業(インドネシアとの共同事業)推進
71	⑨横浜市及び国内に生息する希少動物の保全の取組	・推進	市内カエル、ミゾゴイの飼育繁殖技術研究、スバルバルライチョウ繁殖成功
71	⑩希少動物の保全に関する研究の推進	・繁殖センターが行う研究件数 40件	市立3動物園との共同研究ほか 計 50件
71	⑪身近な動物・傷病鳥獣に関する啓発の推進	・講座回数 20回《4か年》	エコ森教室「傷病鳥獣のはなし」ほか 計 3回実施

#### (3) しきみづくり

71	①生物調査データの一元化(データベース化)と活用	・データバンクの整備・活用	データの一部公開、産学官連携による検討
71	②市民参加の生き物調査の推進	・市内全域で実施	約160校12,000人超の児童参加による調査
71	③生物生息状況モニタリング調査【生活環境に再掲】	・継続実施	帷子川流域の陸域生物調査 河川生物相調査の冬季調査
71	④地域特性に応じた保全等の検討	・検討	産学民官連携による生物多様性評価手法検討



環境管理計画(H26年度取組状況一覧)

生物多様性

頁	主な取組	目標	実績
<b>(4) まちづくりと経済活動</b>			
72	①エキサイトよこはま22における環境取組の推進【環境とまちづくりに再掲】	・推進	省エネ、低CO2を実現する建築計画、自然換気・自然採光の取り入れ、再生可能エネルギー導入等推進
72	②みなとみらい2050プロジェクトの推進【環境とまちづくり、地球温暖化対策に再掲】	・推進	アクションプラン策定
72	③みなとみらい21中央地区の公共空間への緑化推進【環境とまちづくりに再掲】	・推進	みなとみらい3号線の緑化推進
72	④京浜臨海部の海づくり【環境とまちづくりに再掲】	・推進	人工干潟設置等取組推進
72	⑤都心臨海部の海づくり【環境とまちづくりに再掲】	・推進	山下公園前海域において民間企業との共同研究、アマモ植え付け
72	⑥金沢区野鳥海岸周辺の花づくり【環境とまちづくりに再掲】	・推進	市民活動団体と協働の体験プログラムの実施、野島青少年研修センターでの自然体験プログラムの提供、市民団体と連携したイベントを開催、海域の生物による水質浄化のPR等の環境活動の啓発を実施
72	⑦金沢区白帆地区の花づくり【環境とまちづくりに再掲】	・推進	アマモの播種等自然学習イベント実施
72	⑧企業の環境行動の広報【環境と人・地域社会に再掲】	・推進	ヨコハマ環境行動フェスタステージイベントへの企業参加、連携した広報

水とみどり

(1) 市民とともに次世代につなぐ森を育む

頁	主な取組	目標	実績
76	①緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	・緑地保全制度による指定 400ha《4か年》	指定の拡大 101.7ha、買取り 18.2ha
76	②森づくりガイドライン等を活用した森の育成	・森づくりガイドライン等を活用した維持管理の推進 ・保全管理計画の策定 樹林地：12か所、公園：8か所《4か年》	森づくりガイドライン等を活用した維持管理 樹林地：109か所、公園11か所 保全計画の策定 樹林地 3か所、公園5か所
76	③指定された樹林地における維持管理の支援	・維持管理の支援 650件 ※2014～2018年度まで	樹林地維持管理助成 :132件
76	④生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上【生物多様性に再掲】	・法面の整備 8か所《4か年》	1か所整備施工中
77	⑤森の楽しみづくり	・イベント実施及び広報活動 144回《4か年》	森に関わるイベント等の実施 :107回

(2) 市民が実感できる緑をつくる

77	①民有地における緑化の助成【環境とまちづくりに再掲】	・緑化の助成 65件 ※2014～2018年度まで	個人宅、集合住宅、公開性のある地麵緑化への助成 計5件
77	②公共施設・公有地での緑の創出・管理	・緑化の創出 58件 ※2014～2018年度まで	市庁舎等多くの市民が利用する施設等の緑化16か所、各施設における適切な維持管理
77	③公有地化によるシンボリックな緑の創出	・緑の創出 5か所 ※2014～2018年度まで	シンボリックな緑の創出予定地を1か所取得
77	④いきいきとした街路樹づくり	・18区で推進	計画的なせん定等実施
77	⑤地域緑のまちづくり	・協定締結 30地区 ※2014～2018年度まで	6地区と協定締結
77	⑥保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出	・緑の創出 100か所 ※2014～2018年度まで	校庭・園庭の芝生化、ピオトープや花壇・植栽等緑の創出 計 50か所
77	⑦都心臨海部の緑花による賑わいづくり【環境とまちづくりに再掲】	・推進	「魅力・賑わいづくり:6か所、良好な維持管理:3か所」

(3) 効果的な広報の展開

77	①市民の理解を広げる広報の展開	・効果的な広報の展開	広報よこはま・リーフレット・イベントほか、様々な媒体・手法を用いたPR実施
----	-----------------	------------	---------------------------------------

(4) 水循環の再生

78	①宅地等における雨水浸透、貯留の推進	・雨水貯留タンク設置への助成 300個/年	280個に対し助成金交付
		・宅内雨水浸透ます設置への助成 50個/年	9個の助成実施
78	②公共施設における雨水浸透の推進	・道路への雨水浸透ますの設置 1,000個/年	862個設置
78	③透水性舗装の展開 【生活環境に再掲】	・透水性舗装の実施 160,000m2《4か年》	歩道舗装面積A=24,589㎡

環境管理計画(H26年度取組状況一覧)

水とみどり

頁	主な取組	目標	実績
<b>(5) 多自然川づくりの推進</b>			
78	①多自然川づくり	・推進	推進
78	②水辺拠点の整備	・水辺拠点の整備 3か所《4か年》	いたち川紅葉橋水辺 1か所整備
78	③多様な生き物を育む場づくり(アユが遡上する川づくり)【生物多様性に再掲】	・帷子川モデルプランの策定	基本方針(案)策定

食と農

**(1) 持続できる都市農業の推進**

頁	主な取組	目標	実績
82	①農業生産基盤・設備の整備・改修	・生産環境の整備 72地区《4か年》	15地区実施
82	②経営改善や規模拡大に寄与する営農支援	・経営改善支援 70件《4か年》	12件 支援
82	③横浜型担い手の認定・支援	・担い手に対する支援 20件《4か年》	認定農業者の経営診断 1件実施
82	④農地の貸し借りに関する調整	・貸借面積 12ha《4か年》	利用権設定 111ha
82	⑤6次産業化など付加価値を高める取組の推進【環境と経済に再掲】	・生産設備等支援 30件《4か年》	調査実施
82	⑥先進的な栽培技術の活用による生産振興	・先進栽培技術に対する支援 30件《4か年》	先進栽培技術研修 1件
82	⑦効率的な農業経営のための農地の集約化	・農地マッチング 7.0ha《4か年》	農地の集約化 1.4ha

**(2) 市民が身近に農を感じる場をつくる**

83	①水田の保全	・水田の保全承認 123ha《2017年度末》 ・水源の確保 8か所《4か年》	水田の保全承認 119.7ha 水源の確保:1か所
83	②農景観を良好に維持する取組の支援	・良好に維持されている農地の面積 680ha《2017年度末》 ・水路機能の維持 4地区《4か年》 ・土砂流出対策 4か所/年	・良好に維持されている農地の面積 704.3ha ・水路機能の維持 1地区 ・土砂流出対策 10か所
83	③多様な主体による農地の利用促進	・長期貸付農地の確保 78ha《2017年度末》	・長期貸付農地の確保 66.4ha
83	④様々な主体による農地の利用促進	・市民農園の開設 4.8ha《2017年度末》 ・収穫体験農園の開設 10.0ha《2017年度末》 ・農園付公園の整備 6.7ha《2017年度末》	市民農園の開設 2.8ha、収穫体験農園開設 1.5ha、農園付公園の整備 1.4ha
83	⑤市民が農を楽しむ支援する取組の推進	・横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施 400回《4か年》 ・農ある横浜・あぐりツアーの開催 16回《4か年》 ・農のある地域づくり協定の新規締結 3件《4か年》 ・家族で学ぶ農体験講座の開催 20回《4か年》	・横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施 94回 ・農ある横浜・あぐりツアーの開催 3回 ・農のある地域づくり協定:ワークショップ開催 ・家族で学ぶ農体験講座の開催 5回
83	⑥地産地消にふれる機会の拡大	直売所等の支援 42件《4か年》 青空市運営支援 20件《4か年》	直売所支援 4件、青空市運営支援 4件
83	⑦市民や企業等との連携(地産地消の推進)【環境と経済に再掲】	・企業等との連携 50件《2017年度末》	企業等との連携 5件

環境管理計画(H26年度取組状況一覧)

資源循環

(1) 一般廃棄物に関する取組

頁	主な取組	目標	実績
88	①3R行動の実践に向けた広報・啓発	・説明会・イベント・工場見学等啓発5,500回《4か年》	説明会・イベント 1,306回、「ヨコハマセントラルタウンフェスティバル155」への啓発ブース出展ほか
88	②生ごみ等の減量化・資源化推進事業【地球温暖化対策に再掲】	・生ごみ等のバイオガス化の実現可能性を検討	バイオガス化実現可能性検討、食品ロス削減等啓発のためのPR等実施
88	③事業者による減量化と分別徹底	・立入調査等(大規模・中小事業所) 8,000件《4か年》	立入調査 3,100件、焼却工場での搬入物展開検査 8,540台 実施ほか
88	④ぬくもりのある街横浜事業	・高齢者等のごみ出し支援のニーズに着実に対応	市民ニーズに着実に対応
88	⑤焼却工場の長寿命化等の適切な施設管理	・都筑工場長寿命化工事の完了《2017年度》	プラント設備工事着手、照明設備等更新工事
88	⑥最終処分場の整備とごみ焼却灰の資源化など処分場の延命化	・南本牧ふ頭第5ブロック最終処分場整備の完了《2017年度》	海底地盤の地盤改良、遮水護岸の基礎工事及び据付、しゅんせつ等整備実施 第2ブロック処分場の延命化対策として、焼却灰の熔融処理による資源化や高密度化工事を実施

(2) 産業廃棄物に関する取組

91	①循環型社会を目指した取組の推進	・多量排出事業者等への自主管理計画の策定指導の推進 ・公共事業等における再生利用の推進	自主管理計画策定指導、他都市取組事例情報収集ほか
91	②安全で信頼できる環境負荷の少ない廃棄物処理の推進	・アスベスト、PCBなど産業廃棄物の適正処理指導の徹底の推進 ・不法投棄・不適正処理の未然防止のため監視体制の強化の推進 ・災害等の廃棄物処理体制の整備	立入調査実施、関係部署連携による不適正処理等への迅速対応実施、災害時の土地利用について協議
91	③市民、排出事業者、処理業者、行政の協働・連携強化	・市民向け啓発活動の実施	市民向けリーフレット「さんばいってなーに」配布

生活環境

(1) 大気環境の保全

頁	主な取組	目標	実績
94	①二酸化窒素・浮遊粒子状物質対策	・FCV、九都県市指定低公害車の普及促進、エコドライブ講習会の開催	FCV等普及啓発イベント(13回)開催、エコドライブ講習会・エコドライブシミュレーター体験会等(7回)開催
94	②微小粒子状物質(PM2.5)対策	・常時監視の実施 ・発生源に関する実態把握の実施	市内18区で常時監視、年4回成分分析
94	③光化学オキシダント対策	・立入調査・測定の実施 ・VOC排出量調査の実施 ・周辺自治体との連携	揮発性有機化合物(VOC)排出事業場への立入調査、排出量調査実施、九都県市などにおいて夏季のVOC対策啓発活動
94	④悪臭対策	・立入調査の実施 ・都市・生活型の臭気測定	立入調査実施、悪臭物質・臭気の測定
94	⑤低炭素交通の普及促進【地球温暖化対策に再掲】	・推進	燃料電池自動車FCV1台導入(県内初) 水素ステーション2か所(旭区・泉区)開所、「チョイモビ ヨコハマ」実証実験推進、EVによるワンウェイ型カーシェアリングサービス「smaco」サポート実施ほか

環境管理計画(H26年度取組状況一覧)

生活環境

頁	主な取組	目標	実績
<b>(2) 水環境の保全</b>			
97	①工場・事業場等への規制指導	・届出指導、立入調査の実施	法令に基づく届出 667件、立入 615件、水質汚濁防止法改正への対応、横浜市生活環境の保全等に関する条例の規則改正
97	②東京湾流域自治体との連携	・「東京湾環境一斉調査」などの実施	一斉調査実施(9/3)、「東京湾大感謝祭2014」での啓発活動
97	③下水道の取組	・高度処理の導入 4水再生センター《4か年》 ・合流式下水道の吐口における下水流出抑制対策等の推進	金沢水再生センター第4系列高度処理化工事完了、堰高改良2か所
97	④赤潮モニタリングの実施	・モニタリングの実施	水質測定計画測定地点のうち3地点で赤潮モニタリング試行、赤潮発生時の原因プランクトン同定
97	⑤多自然川づくりの推進【水とみどりに再掲】	・推進	推進
97	⑥つながりの海(まちづくりと連携した海づくり) 【環境とまちづくりに再掲】	・推進	人工干潟設置等取組推進、山下公園前海域において民間企業との共同研究、アマモ植え付け、市民活動団体と協働の体験プログラムの実施、野島青少年研修センターでの自然体験プログラムの提供、市民団体と連携したイベントを開催、海域の生物による水質浄化のPR等の環境活動の啓発を実施、アマモの播種等自然学習イベント実施、カーボンオフセット社会実験実施、PRイベント開催
97	⑦市民参加型等による生物多様性の取組 【環境と人・地域社会、生物多様性に再掲】	・推進	水辺愛護会の活動距離 59,068m、帷子川流域の陸域生物調査 河川生物相調査の冬季調査
<b>(3) 地盤環境の保全</b>			
99	①地盤沈下対策	・届出指導、立入調査の実施 ・環境測定の実施	新設揚水施設(許可:4件、小規模届出:15件)、 その他揚水施設届出等274件、掘削工事届出:28件、 精密水準測量:測量延長368km(地理院52km含)、調査数333点 最大沈下量:8.5mm(港北区)
99	②土壌汚染対策	・土壌汚染のある土地の適切な管理を推進 ・届出指導、立入調査の実施	土壌汚染対策法届出、指導:255件 市条例届出、指導:164件 立入調査(法・条例):約80件
99	③地下水の水質汚濁対策	・届出指導、立入調査の実施 ・常時監視の実施	地下水汚染追跡井戸:43件 市条例(地下水汚染)届出件数:15件 水質汚濁防止法の改正(地下水汚染の未然防止のための取組制度の創設)に伴う届出件数:37件 市内73か所の井戸について常時監視を実施。 ・メッシュ調査:24件 ・定点調査:6件 ・継続監視調査:28件 ・汚染井戸周辺地区調査:5件 ・汚染井戸監視調査:13件
99	④水循環の再生【水とみどりに再掲】	・推進	推進
<b>(4) 化学物質対策の推進</b>			
101	①化学物質対策	・PRTR届出指導の徹底 ・講座開催、イベント出展	・PRTR届出件数:413 ・他自治体、他機関と連携した事業者セミナー:3回 ・事業者間の情報交換会、事業所排水分析支援 実施 ・講座・イベント出展等:5回
101	②有害化学物質対策	・届出指導、立入調査の実施 ・環境測定の実施	地下水汚染:原因究明調査を実施1地区 市内5地点で、有害大気汚染物質採取分析調査を年12回実施。
101	③ダイオキシン類対策	・届出指導、立入調査の実施 ・環境測定の実施	土壌モニタリング:10 地点 ○大気:6地点で年4回(春夏秋冬)測定を実施。 ○海域・地下水:各6地点で測定を実施。
101	④アスベスト対策	・立入調査の実施 ・環境測定の実施	・石綿排出作業現場において、アスベストの測定調査の実施。 ・年度取りまとめ資料の作成

環境管理計画(H26年度取組状況一覧)

生活環境

頁	主な取組	目標	実績
<b>(5) 騒音・振動対策の推進</b>			
103	①工場・事業場の騒音・振動対策	・届出指導、立入調査 ・騒音低減のための普及啓発 ・都市・生活型の騒音測定	・事業者からの法や条例に基づく届出に対し適正な審査と適切な指導、特定工場等への立入調査を実施 ・騒音苦情の未然防止のため業界団体に対し普及啓発を実施 ・都市・生活型の騒音測定、苦情対応(発生源指導等)を実施(苦情件数:255件)
103	②建設作業の騒音・振動対策	・立入調査の実施 ・騒音・振動低減のための普及啓発	・特定建設作業に関し法に基づく届出に対する適正な審査と適切な指導、現場等への立入調査を実施 ・建設・解体工事に伴う騒音・振動の未然防止のため業界団体に普及啓発を実施 ・発生源指導等の苦情対応を実施(苦情件数:242件)
103	③生活騒音対策	・生活騒音に係る相談対応	・生活騒音の相談者にリーフレット配布、騒音計の貸出、解決に向けたアドバイス等の側面的な支援を実施
103	④道路及び鉄道交通騒音対策	・常時監視の実施 ・地域特性を考慮した騒音対策	・市民からの苦情、道路の騒音(9件)及び振動(36件)、鉄道の騒音(10件)及び振動(9件)に対応を実施 ・市民からの調査依頼に基づき、道路の騒音(3件)及び振動(19件)、鉄道の騒音(6件)及び振動(3件)の測定を実施 ・鉄道や高速道路等に近接して集合住宅を建設しようとする事業者への防音対策指導を実施(38件)。 ・常時監視(道路):34地点で騒音測定を実施し、面的評価により、市内14路線延べ116.4kmにわたり、道路端の住居等が受ける騒音レベルを評価 ・常時監視(新幹線):24地点で測定を騒音・振動測定を実施
103	⑤航空機騒音対策	・常時監視の実施	・航空機の騒音に対する苦情対応を実施(65件) ・年間を通して市内3か所で常時監視を実施
<b>(6) ヒートアイランド対策の推進</b>		<b>目標</b>	<b>H26</b>
107	①定点的な観測	・推進	実施に向けた検討
107	②研究解明に向けた取組	・推進	検討
107	③普及啓発	・推進	推進
107	④熱中症対策(ヒートアイランド現象適応策)	・2017年度までに本格運用	検討
107	⑤すず風舗装による道路整備	・すず風舗装の実施 10,000m2《4か年》	継続的な事業として、磯子区、栄区の3か所において遮熱性舗装2,951㎡(磯子区:758㎡、916㎡、栄区:1,277㎡)を実施
107	⑥透水性舗装の展開【水とみどりに再掲】	・透水性舗装の実施 160,000m2 《4か年》	歩道舗装面積A=24,589㎡
107	⑦都心部におけるエコまちづくりの推進 【環境とまちづくりに再掲】	・推進	推進
107	⑧市民が実感できる緑をつくる【水とみどりに再掲】	・推進	推進